



題字・絵・文／池原昭治氏

池原さんのプロフィールや  
ほかの作品はこちら▼



# さやまの昔ばなし

28

このコーナーでは、昔から市内で語り継がれている言い伝えなどを、池原さん流の描画で紹介します。

## お餅つきの話

年の瀬もおしせまり、ここかしこから威勢のよい餅つきのお音が聞えてきます。今はなつかしい年末の風物詩です。  
堀兼のま月柳あたりでは、餅つきは十二月二十八日か、三十日につき、二十九日には決めてつくなどといった。それは「重苦」で苦しみが重なるからだといわれました。また、三十一日は「一夜餅」になるので縁起がよくないからついてはいけません。いいいきました。



## 編集後記

今月の特集では、10月から実証運行を開始した「ほりかねデマンドバス」の関係者の方々からお話を伺いました。中でも特に印象的だったのは、計画策定や運営に携わっている方々の熱量の高さです。地域の課題解決を自分事として捉え、自らの手でより良い制度にしたいという強い意志が感じられました。

私事ではありますが、今年71歳になる両親が堀兼地区で暮らしています。現在はまだ駅や買い物へ行く手段に困っている様子はありませんが、恐らく遠くない将来、自分で車を運転することが困難になる日がやってきます。その時にこのデマンドバスが、地域の方々と市が手を携えブラッシュアップを重ね、今よりもさらに地域から愛される交通手段になっていることを期待せずにはられません。

広報さやまへのご意見・ご感想は  
はがき・メール・FAXで広報課へ



〒350-1380  
狭山市入間川1丁目23番5号



koho@city.sayama.saitama.jp



TEL 04-2953-1111  
FAX 04-2953-1117



公式  
ホームページ



公式  
Facebook



公式  
Twitter



狭山市LINE  
公式アカウント  
ID:@citysayama

